

基本的な学習習慣を身につける

—学習時間の目安20分～30分—

理解しましょう 小学校1・2年は、こんな時期です

育ちや学びの特徴

- 一人で学習の内容や方法を決めることはまだ無理です。家族の手助けが欠かせません。
- 「やったね!」「よくできたね!」など、まわりのほめ言葉が、素晴らしい意欲を生み出します。
- いろんなことに興味・関心をもち、何でも知りたがります。
- 「早寝早起き」「しっかり朝食をとる」「朝の排便」「正しい姿勢で座る」などの基本的な生活習慣が身につくと、学習の習慣もしっかり身についてきます。
- 家族の助けを借りながら、学校での学習を受け学習内容や方法を決め、出来たことをほめることによって興味・関心を引き出し、意欲を高めることができます。先生とも十分連携が必要です。必要なことは相談しましょう。

学習内容の特色（学校で）

- 「読み、書き、計算」など、基礎的・基本的な学習が中心です。
- 教科ごとの45分間授業が基本です。先生の話をしっかり聞いて学習します。
- 生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりします。
- 繰り返し練習することで、力のつく学習内容がたくさんあります。
- 「鉛筆を正しくもつ」「明日の学習を準備する」「整理整頓をする」も、基本となる学習です。

家庭学習のつぼ!! 3か条

その1

最後までやり終える! ~家族も一緒に根くらべ~

- 宿題は最後までやることを守らせましょう。最後までやったかどうかを必ず家族の目で点検しましょう。テレビやゲームも、時間のけじめをきちんと守らせましょう。
根負けせずに、ねばり強く働きかけることが大切です。

その2

子どもにも家事を! ~高学年・中学生になっても~

- 家庭で、子どもにできる仕事をみつけてください。
家族の一員としての自覚が育つとともに、学習に必要な持続力、集中力、根気などが育ちます。こつした家事の分担は、学年が上がってもするべきです。

その3

子どもが見ているぞ! ~子は親のうしろ姿を見て育つ~

- 大人が、お手本となるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。
家族ぐるみでよりよい学習習慣づくりに努めることが大切です。読書はとて効果的です。

小学校1・2年生の家庭学習は こんな内容・方法で

○これはできるように

- ・ これまでに学習した漢字の読み書き
- ・ これまでに学習した計算や作図が確実にできるように
- ・ 教科書がすらすら音読できるように

○こんなことをしてみたら

- ・ 読書 音読 暗唱
- ・ 漢字練習
- ・ 教科書の問題・ドリル・問題集などをする
- ・ わからないことを図鑑などで調べる
- ・ 自然（花 虫 ほしなど）の観察をする
- ・ いろいろなもののスケッチをする

国語

- すらすら読みましょう。
 - ・ 本を声に出してすらすら読めるようになりましょう。
 - ・ 「」やてん（、）まる（。）に気をつけて読んでみましょう。
 - ・ 毎日続けて読みましょう。
- ていねいに書きましょう。
 - ・ ひらがな・かたかな・かん字を正しく書けるように、ノートに練習しましょう。（筆順、字形、鉛筆の持ち方に気をつけて）
 - ・ 教科書の文を正しく書き写しましょう。
 - ・ 「～は」「～を」「～へ」を正しく使って、作文や日記を書きましょう。

算数

- 計算の練習をしましょう。
 - ・ 算数（計算）ドリルや教科書の問題を正しくできるように練習しましょう。
- ※ はじめは、速さをあまり意識せず、楽しみながら正しく計算ができるようにしましょう。正しく計算ができるようになれば、少しずつスピードを上げて練習するようにしましょう。
- ※ まちがった問題は、必ずもう一度やり直す習慣をつけましょう。正しい計算手順が確実に身につくように、ときには、手順を唱えながら練習してみましょう
- 定規やはさみをじょうずに使えるようにしましょう。

その他

- 休みの日には、山や川、動植物園などに出かけ、本物の動植物にふれましょう。家でも生き物を育ててみましょう。

ご家庭では、こんな援助をしてあげましょう

- 学習を始める前にテレビなどを消しましょう。勉強をする場の整理整頓をしましょう。
- 学校からの連絡やお便り、明日の授業などを子どもと一緒に確かめることが大切です。
- 学習時間を決めて、毎日の宿題を最後まできちんとできるようにさせましょう。
- 一緒に買い物をしたり、時計をよんだりしながら、子どもの生活経験を増やしましょう。
- 子どもの興味や関心、学年に応じた本をまわりに置きましょう。読み聞かせをしてあげることも大切なことです。
- 音楽の鍵盤ハーモニカを練習したり、生活科で動植物の観察をしたりすることも大切なことです。
- 楽しかったことやうれしかったことを自分のことばで絵日記や日記に書くこともすすめてください。
- 家庭での援助として、音読を聞いて感想を伝え合うことも大切なことです。

★ **地域の子どもの成長とわが子の育ちを見つめてほしい**

この時期だからこそ、子どもと一緒に遊ぼう！！

今ならどこでもついてきてくれるし、休みの日が待ち遠しくなる。毎日の目配りは無理かもしれないけれど、子育てにかかわり、親の背中を見せておきたい。

子育てを、母親だけに任さず、父親は、時に厳しく、時に優しく、地域のすべての子どもたちの健やかな成長を見守ってほしい。